

## 「行革甲子園 2018」エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

・区民から愛されるイングリッシュガーデンに挑戦する『西区秘密の花園倶楽部』

#### 2 取組期間

・平成 28 年度 8 月～（継続中）

#### 3 取組概要

区役所の誰も見向きもしなかった遊休地や整備後手入れが行き届かず、枯れ草が放置された壁面緑化設備を利用し、区役所に訪れる市民が笑顔で交流でき、季節ごとに色とりどりの花や香りを楽しむことができる『イングリッシュガーデン』を整備した。

整備に当たっては、役職や施設管理の担当課を越えて、区の職員自らが整備することで、区役所に愛着をもち、担当業務に取り組むとともに、風通しのよい職員同士のコミュニケーションの場としても活用している。

#### 4 背景・目的

区役所の玄関先にプランターを設置していたが、管理職が当番で水やりし、枯れてもそのまま、そもそも花に興味がないから、植栽の仕方がわからない状況が続いていた。

熊本市西区のまちづくりビジョンとして「華のあるまちづくり」を掲げているものの、実際は華のあるまちづくりには程遠く、庁舎には割れたプランターが放置され、壁面緑化設備に関しては鉄格子が施設を囲っているだけとなっており、市民からも苦言を呈されていたが、これらに対して職員が積極的に改善するようなことを行うことはなく、放置された状態が続いていた。

そのため、これらの植栽や管理を業者に委託する見積もりを聴取すると、イニシャルコストで 2,000 千円程度、ランニングコストで年間 500 千円程度の委託料が必要となり、厳しい財政状況の中、庁舎管理に多額の費用をかけることは困難な状況であった。

そこで、区役所内の職員でボランティア倶楽部を設立し、費用をかけずにモデル的なガーデンを整備することで、区役所に訪れる市民が笑顔で交流でき、季節ごとに色とりどりの花や香りを楽しむことができるほか、職員同士のコミュニティ形成を図り、何事に関しても「自分事化」して取り組む職場風土を構築する。

## 5 取組の具体的内容

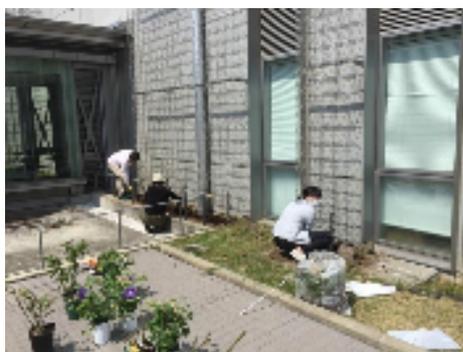
区役所には下記の課題があった。

- ① 隣の課の人と接点が少ない、興味がない（コミュニケーションの欠如）
- ② 区役所（庁舎）への愛着がない（自分が働く場所への愛着がない）
- ③ 区役所の事業に興味がない、関係ない（隣の業務は関係ない）

これらの課題が顕著に現れていたのが、区役所庁舎の植栽関係で、植栽後、数年間放置されている状況だった。



そこで、これらを解決する為、『西区秘密の花園倶楽部』を発足し、課や役職など関係ない、若手職員が中心となった『イングリッシュガーデン』整備がスタート。開始当初は、部員が集まらないし、花の名前もわからない、職員の冷たい目が気になり、なかなか先に進まなかったが、まずは少人数からスタートし、やってみせ、見てもらい、同意を得てから、職員を積極的に勧誘していった。



開始から半年が経つと、部員数も 20 名を超え、市民からも評判のガーデンとなり、区内の花屋さんから花の提供を受けたり、花の植栽に対する質問も多数寄せられるようになった。



また、平成 29 年 3 月に植栽した壁面緑化のバラが平成 30 年 4 月に高さ 3 メートル弱まで成長し、壁面一杯にバラを咲かせ、市民がバラを目的に区役所にいらっしゃるなど注目を浴びている。



さらに、これらの活動が市長にも届き、熊本市で開催誘致を検討している全国都市緑化フェアのモデル的取組として取り上げるよう関係部局に指示されるなど、今後益々の展開を計画している。

## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

既存の施設を活用することで、少ない経費で大きな効果がでている。また、参加職員は職員同士でコミュニケーションをとりつつ、昼休みや業務終了後の短い時間で楽しみながら積極的に参加している。

何事を行うにあたって他部署との連携は必要不可欠であり、常日頃から関係性を構築することで、風通しのよい関係性作りができています。

加えて、通常の勉強会ではなかなか職員が集まらなかったが、この集まりを利用して、職員のこれまでの経験を活かし、勉強会（まちづくりや行財政関係など）を開催し、職員のスキルアップも行っている。

（勉強会の例）

元財政課職員 →熊本市の財政について

現地域担当職員 →地域担当職員ってなあに？

元人材育成センター職員 →ホワイトボードミーティングのやり方

## 7 取組の効果・費用

- ・何を行うにあたっては人材育成が重要であり、身近な題材で「自ら考え・自ら見直し・自ら行動」する職員の育成ができています。
- ・また、これまで横（他部署）との連携が少なかったが、この活動を通じて知り合いが増え、通常業務での問合せなどがスムーズとなった。
- ・また、地域住民が西区のガーデンを参考にして、地域の共有地を自分たちで整備するなど、広がりが出てきている（数箇所）。
- ・これまでに要した経費は初期投資として鉢や土代、花苗代などで20万円程度。また、今後もメンテナンスや肥料代、花苗代などで3万円程度が年間に必要。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・始めてすぐは認知度が低く、後ろ指をさされるような雰囲気の中でのスタートだったため、部員が集まらなかった。
- ・もともと雑草が生い茂っていたところだった為、植栽後も除草作業が大変だった。

## 9 今後の予定・構想

市民も自由に参加できる仕組みを作り、市民と一緒にやっていくほか、現在、壁面緑化については一部の箇所しかできていないため、今後は徐々に面積を増やすとともに、イングリッシュガーデンも拡大していく。

## 10 他団体へのアドバイス

- ・まずは小さく始めて1人でも多くの仲間を見つけること。
- ・そして、長（トップ）に活動の仕組みを理解してもらうこと。
- ・職員の意識を主体的に変えるきっかけを作り、職員が「自ら考え・自ら見直し・自ら行動」し、何事に対しても課題を見つけ、その課題を議論し、改善に向けて実践する組織風土に変えていくとともに、職員がチャレンジできる場を創出すること。

## 11 取組について記載したホームページ

<https://www.facebook.com/kumamotonishi/>